

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名

埼玉県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	熊谷市立熊谷南小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	3	2	2	3	0	14	19
児童数	61	73	100	59	79	84	0	456	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力の向上をめざす教科担任制・少人数指導の研究」

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

教科担任制 5・6年 国語、社会、理科

教科担任制は、平成14年度には、3年生以上で実施した。しかし、中学年では、発達段階から学級担任との関わりを望む声が大きく、教科担任制のよさを感じ取れる段階ではないことが明らかになった。そこで、平成15年度は、5・6年で実施することとした。

教科は、平成14年度は本校の児童の実態を踏まえて、すべての学習の基盤となる国語の力の向上が不可欠であると考え「国語」を、児童の科学的なものの見方や考え方、実験・観察の技能・表現を系統性や連続性を踏まえて伸ばすために「理科」を教科担任制の重点教科として実施した。

平成15年度は、5・6年の系統性を踏まえ、「国語」「理科」に加え「社会」も実施することとした。このことにより、児童の学習の積み重ねに連続性を持たせ、意図的に指導のねらいを設定できると考えたからである。

少人数指導 全学年 算数

少人数指導は、全学年、全学級で実施している。どの学年でも同じように力をつけていきたいという教師の願い、自分の家の子をきめ細かに見てほしいという保護者の願い、それに何より「わかるようになりたい、できるようになりたい」という全ての児童の願いに応じるためである。

少人数指導に入る担当者は担任外とし、年間を通して固定した。これは、評価に責任を持つということにつながる。さらに、共通理解のもとで指導することにより児童理解が深まり、個に応じたきめ細かな指導が図れるであろうと考える。

(2) 年次ごとの計画

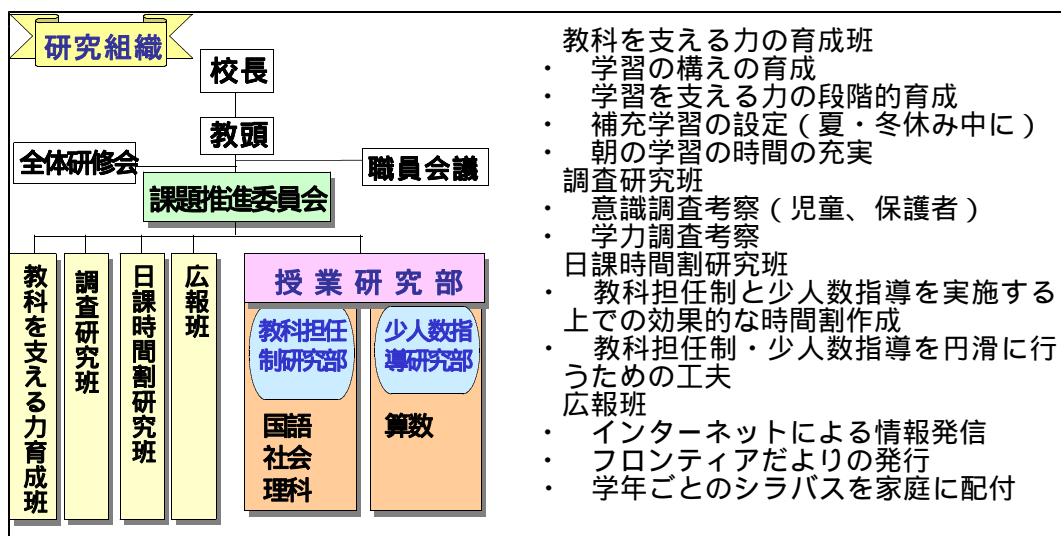
平成14年度	テーマ 基礎・基本を身につけた児童の育成
	<p>研究の仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の一人一人に、各教科・領域の学習に意欲的に取り組ませたり、これまで学んだことを積極的に活用させたりする学習活動の展開を図ることにより、「基礎・基本」は身につけ、活動の際に自分の学びを総合力として発揮する力になるであろう。 指導と評価を一体化し、個に応じたきめ細かな授業を行うことで、「基礎・基本」は定着し、自ら学ぶ意欲の向上につながるであろう。 <p>研究の内容・方法</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校における「教科担任制」の効果的な導入方法

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本を明確にした授業 ・ 児童の意欲をふまえた個に応じた指導の工夫 ・ 指導と評価の一体化 <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本を明確にし「重点、反復、発展」的に身につける力を計画するとともに、評価規準、評価計画、評価方法を位置づけた年間指導計画を作成して、授業の工夫改善を図る。 ・ 教科の特性をふまえ深める授業を行うために、教科担任制の指導体制を取り、指導力の向上に努める。 ・ 少人数指導を取り、個に応じたきめ細かな指導を行う。 ・ 「教科を支える力」の育成のために、「朝の学習」を設定する。
--	--

平成15年度	<p>テーマ 基礎・基本を身につけ学びを自分のものとしていく児童の育成</p> <p>研究の仮説</p> <p>教科担任制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年の担任が学年全学級を指導する体制を取ることで、学年担任の意識が高まり、児童一人一人の学びの姿を複数の教師で多面的に見つけ伸ばすことになるであろう。 ・ 教科担任制をいかし、教材研究を深め、魅力ある授業を行うことにより、児童の「学ぶ」ことへの興味・関心・意欲を高めることになるであろう。 <p>少人数指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して、担当者（担任・担任外）を固定し、共通理解のもとで指導することにより、児童理解が深まり、個に応じたきめ細かな指導が図れるであろう。 ・ 児童の実態や学習内容に応じて多様なコースを設定し、さらに個に応じた手立てを講じ授業を行うことにより、児童の「わかる・できる」喜びを高めることができるであろう。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における「教科担任制」の効果的な導入・運営方法 ・ 個に応じるための「少人数指導」の進め方 ・ 基礎・基本を身につける指導の工夫改善 ・ 学びを自分のものとしていく自己評価能力の育成 ・ 教科担任制・少人数指導を支える日課時間割の作成
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 基礎・基本を身につけ学びを自分のものとしていく児童の育成</p> <p>研究の仮説</p> <p>教科担任制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年の担任が学年全学級を指導する体制を取ることで、学年担任の意識が高まり、児童一人一人の学びの姿を複数の教師で多面的に見つけ伸ばすことになるであろう。 ・ 教科担任制をいかし、教材研究を深め、魅力ある授業を行うことにより、児童の「学ぶ」ことへの興味・関心・意欲を高めることになるであろう。 <p>少人数指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して、担当者（担任・担任外）を固定し、共通理解のもとで指導することにより、児童理解が深まり、個に応じたきめ細かな指導が図れるであろう。 ・ 児童の実態や学習内容に応じて多様なコースを設定し、さらに個に応じた手立てを講じ授業を行うことにより、児童の「わかる・できる」喜びを高めることができるであろう。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における「教科担任制」の効果的な導入・運営方法 ・ 個に応じるための「少人数指導」の進め方 ・ 基礎・基本を身につける指導の工夫改善 ・ 学びを自分のものとしていく自己評価能力の育成 ・ 発展的な問題の分析と指導方法の研究
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

教科担任制の成果

- ・ 教科担任制は、高学年から導入する方が適当であることがわかった。
- ・ 学年内教科担任制は、児童を多面的に理解し、指導にいかすことに効果的であることがわかった。
- ・ 同一単元の授業を複数回実施できることにより、教材研究を深め、工夫した授業ができた。
- ・ 小学校での教科担任制を支えていくために、児童と教師や教師間で必要なことを明らかにできた。
- ・ 学級担任としてやるべきこと、教科担任として行うこととを整理でき、教科指導の責任者としての意識を持てた。

少人数指導の成果

- ・ 年間を通して担当者（担任・担任外）を固定し、全学年・全時間実施することにより、指導者間で意思の疎通が図れ、責任もって指導できた。
- ・ 実態や学習内容に応じて多様なコースを設定し、個に応じた手立てを行うことで、児童の「わかる・できる」喜びを高めることができた。
- ・ 年間指導計画・評価計画、補助簿、自己評価カード等を全員で作成し、打ち合わせの効率化を図ることができた。

2. 今後の課題

課題

- ・ 複数の教師で、児童を多面的にとらえ、それぞれの教師が見つけた児童の状況を、教師間で共有し、さらに指導にいかすように工夫する必要がある。
- ・ 自分にあったコースを自己選択できるように、さらに自己評価能力を育てるための工夫をする必要がある。
- ・ 習熟度別学習が、より個に応じたものになるために、発展的な問題の分析と指導方法を研究する。
- ・ 学習集団を分けて授業を行うことへの、保護者の抵抗感や不安感をより一層解消していくようにする。

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 該当学年の学習実現状況を学力調査（CRT）により把握（年1回）2月
第1, 2, 3, 4学年 国語と算数
- ・ 第5, 6学年 国語、社会、算数、理科
- ・ 当該学年漢字テスト前期、後期 全学年（10月、3月）
- ・ 平成13年度教育課程実施状況調査を使つての調査（第5, 6学年 11月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 学校研究内容説明会 平成15年4月18日 本校体育館 対象保護者
- ・ 学力向上フロンティアスクール研究発表会 平成16年1月30日
- ・ 学力向上推進協議会実践発表 平成16年2月10日 埼玉会館
- ・ 研究内容について本校ホームページにて随時公開
- ・ 研究成果説明 平成15年6月30日 花園町立花園小学校
- ・ 研究成果説明 平成15年11月19日 小平市小・中学校研究主任研修会
- ・ 研究成果説明 平成16年2月26日 日の出町教育委員会研修会

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無